

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2015 年 1 月

ISO/TC61(プラスチック)/SC12(熱硬化性材料)分野の最近の動向

1. ISO/TC61/SC12 の構成

ISO/TC61/SC12 は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。現在、87 の規格を有する。

幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を 2004 年より受諾している。議長も日本（末松征比古氏：三甲株式会社）が受諾している。2014 年のメンバーは、P メンバー（投票権有）が、19 カ国、また O メンバー(オブザーバ)は、9 カ国であった。

表 1 のように四つの WG（作業グループ）が活動している。

WG のコンビナーは、WG1 及び WG2 は空席、WG5 はエポキシ樹脂技術協会の事務局長、高橋泰氏、WG6 は Dr.Thomas.Conti（ANSI；USA）が務めている。WG1 及び WG2 のコンビナーについては、合成樹脂工業協会の事務局次長、正岡正隆氏が就任することが、今回の第 63 回 ISO/TC61 年次国際会議の SC12 のプレナリー会議で決議された。

表 1 TC61/SC12 の WG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	空席	熱硬化性樹脂成形材料
WG 2	空席	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA	ウレタン原料

第 63 回 ISO/TC61 年次国際会議は、2014 年 9 月 22 日から USA のホノルルで開催され、同会議で審議された国際規格の制定・改正状況を WG（作業グループ）別に、記述する（規格の名称は簡略して示す）。

2. ISO/TC61/SC12 の審議事項

(1) WG1 及び WG2

2014 年度 Systematic Review で 26 規格が見直し投票され、確認された。

Systematic Review における WG5 のエポキシ樹脂と不飽和ポリエステル樹脂とに関する 6 規格については、成形材料であり、WG1 で管理することとなった。

(2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

a) ISO 21048（エポキシ樹脂）の改正

2014 年 2 月 11 日に発行となった。

b) ISO 4895（液体エポキシ樹脂の結晶化傾向の測定）の改正

FDIS 投票の結果、100%賛成で承認された。

2014 年 7 月 15 日に発行となった。

c) 2014 年度 Systematic Review で 6 規格が見直し投票され、確認された。

d) 日本より FT-IR によるエポキシ樹脂の架橋度の測定方法が予備提案された。NWIP へ進む予定である。

(3) WG6 (ポリウレタン原料)

a) ISO 25761 (ポリオール N2%表示アミン価) は、

2014 年 2 月 14 日に発行となった。

b) ISO15028 (ポリウレタン用芳香性イソシアネート) は、2014 年 2 月 11 日に発行となった。

c) 2014 年度 Systematic Review で 2 規格が見直し投票され、確認された。

以上